

かつて筆者が新人だったころ、片麻痺の方からよく尋ねられたことは「この手は動くようになりますか?」「また散歩に行けるようになりますか?」という機能回復の予後に関するものでした。そのころ(30 数年以上前、1980 年代)の常識は、脳機能そのものは回復せず、代償的な過程によって ADL の向上が獲得されるというものでした。現在の脳機能回復の理論的発展と実践への展開を、そのころ誰が予想できたでしょうか。

さて、今特集は「脳機能回復と理学療法」です。かつての常識が打ち破られ、新たな可能性、パラダイムシフトを読者は味わうことができるでしょう。この領域の臨床的研究の第一人者である原先生には「脳機能回復理論と治療選択」において、「固定概念であった“装具を使ってでも歩ければいい”ではなく、“補装具を使用しない歩行の獲得”を目標にするなど、今までより高い水準を目標とする時期がきているのではないか」という重要な提案をいただきました。廣川先生には「脳機能回復と促進反復療法」について、その理論的背景と実践結果についてご紹介していただき、「患者が意図した運動を反復して誤りなし学習を強化する点、運動量だけでなく運動の質を重視する点」が肝要であることを解説していただきました。万治先生には「脳機能回復とトップダウンアプローチ」として、経頭蓋磁気刺激(rTMS あるいは cTBS)および tDCS の理論的背景と適応、症例での運動学的効果の検証、展望、限界について解説していただき、特に回復期片麻痺上肢機能の改善についての運動療法との併用を考慮した自験例を紹介していただきました。村山先生には CIMT についての適応と効果に関する先行研究の概観と理学療法場面での適用についての留意点を述べていただき、最近の方法として「拘束への抵抗感やストレスの軽減を目的として、麻痺側への意識化が図られていれば必ずしも拘束は必要でないという modified CMIT」についても言及していただきました。中野先生には「脳機能回復と認知神経的アプローチ」に関して、脳内の運動ネットワークの変化、半球間抑制の不均衡など重要な理論を平易に解説していただき、運動機能回復のための手続きとして体性感覚フィードバック、運動先行型活動、運動発現のための皮質脊髓経路の神経活動の重要性について指摘されました。いずれも先端的な研究成果をもとに述べられていてこの領域の必読論文といえるでしょう。このほか、本号では諸橋先生の入門講座「臨床に活かす理学療法研究法」において「症例報告」が解説され、物語的に「研究を進める理学療法士 A 君の事例」が提示されています。これが大変興味深く「あるある」とうなずく読者も多いと思います。紙幅の都合ですべての記事についてご紹介できないのが残念です。

今年の6月に空前のスケールで開催された第50回日本理学療法学会大会は成功裏に終わり、理学療法は新たなスタートを切りました。さまざまな学際領域の知見を援用しながら最も主要な目標である「機能回復」に貢献できること、今はまだフロンティアであつても数年後、数十年後には新しい常識となっていることを確信して、この後記を終えたいと思います。(網本 和)

理学療法ジャーナル

(第49巻 第9号)

2015年9月15日発行(毎月1回15日発行)

定価: 本体 1,800 円 + 税

〔2015 年 年間購読料(送料弊社負担) 冊子版 19,920 円、冊子 + 電子版/個人 22,920 円、冊子 + 電子版/共有 25,920 円、電子版/個人 19,920 円、電子版/共有 22,920 円、冊子版/学生割引 15,960 円、冊子 + 電子版/学生割引 18,960 円、電子版/学生割引 15,960 円〕

*2015 年より、年間購読料は本体価格表示となります。

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5704

(担当: 前野・伍井・川上・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659

ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail: ptj@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ptj/>

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎ (03) 3637-0005

広告申込所 (株) 医薬広告社 ☎ (03) 3814-1971

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2015, Printed in Japan
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。
- 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)と上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- 【JCOPY】<出版者著作権管理機構委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

*「理学療法ジャーナル」は、株式会社医学書院の登録商標です。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏 生
大 川 弥 生
高 橋 正 明
奈 良 勲
福 屋 靖 子

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
金 谷 さとみ
斉 藤 秀之
高 橋 哲也
鶴 見 隆正
永 富 史子
福 井 勉
横 田 一彦
吉 尾 雅 春

●編集同人●

稲 貝 恵 美
伊 橋 光 二
上 田 陽 之
大 場 みゆき
岡 西 哲 夫
沖 田 実 樹
小 塚 直 樹
日 野 隆 一
河 野 礼 治
酒 井 桂 太
佐 藤 秀 一
佐 藤 房 郎
関 屋 昇
塚 本 利 昭
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
長 野 由紀江
中 林 美代子
中 村 春 基
野 添 匡 史
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
日 野 工
深 浦 順 一
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
丸 田 和 夫
諸 橋 勇
八 木 麻衣子
山 田 英 司